

心理学 専攻 基礎心理学コース （博士前期）

試験科目：専門科目（心理学）

試験時間：（120）分

問 I. 次の語句の意味をそれぞれ簡潔に日本語で説明しなさい。

- (1) 従業員支援プログラム (EAP: employee assistance program)
- (2) 人間-状況論争 (person-situation controversy)
- (3) フェルト・センス (felt sense)
- (4) ジェンダーに基づく暴力 (gender-based violence)
- (5) 身体化 (somatization)
- (6) 共同注意 (joint attention)
- (7) 手続き記憶 (procedural memory)
- (8) 多特性多方法行列 (multitrait-multimethod matrix)
- (9) 印象形成 (impression formation)
- (10) 標準誤差 (SE: standard error)
- (11) 非侵襲的脳機能計測法 (non-invasive brain imaging techniques)

問 II. 以下の設問から 4 問を選んで、日本語で論述しなさい。

注 1 選択した設問（下記の設問(1)～(9)）ごとに、異なる解答用紙を使用すること

注 2 解答用紙には設問番号（下記の設問(1)～(9)）を明記すること

- (1) 認知行動療法の治療期間について知るところを述べなさい。その際に「短期」と「長期」の2つの語を用いること。
- (2) 心理臨床家における「科学者-実践家モデル」について説明し、このモデルがもたらす功罪両面について論じなさい。

- (3) Jung, C.G.は、Freud, S.と Adler, A.の違いをどのように捉えたか。Jung のタイプ論を使って説明しなさい。
- (4) Adverse Childhood Experiences (ACEs : 逆境的小児期体験) が、経験した子どもたちにどのような影響を、なぜもたらすのかを説明し、その影響を緩和する小児期保護的体験・肯定的体験について述べなさい。
- (5) 支持的心理療法と精神分析的な心理療法の違いについて簡潔に説明しなさい。
- (6) ドイツの心理学者、バルテス (Baltes, P. B.) の発達の捉え方について説明しなさい。
- (7) 人を対象として、純音が提示される場面において、異なる音の高さごとに音の大きさがどのように知覚されるかを調べる実験を行うとします。刺激の物理的要素として何を操作すべきか、説明しなさい。あわせて、この実験場面において適切と考えられる心理物理学的手法およびその手法に基づく実験デザインについて論じなさい。
- (8) 結果期待と効力期待について、具体例をあげながら説明しなさい。
- (9) 「名誉の文化」における暴力行動について論じなさい。

心理学 専攻 臨床心理学コース （博士前期）

試験科目：専門科目（心理学）

試験時間：（120）分

問 I. 次の語句の意味をそれぞれ簡潔に日本語で説明しなさい。

- (1) 従業員支援プログラム (EAP: employee assistance program)
- (2) 人間-状況論争 (person-situation controversy)
- (3) フェルト・センス (felt sense)
- (4) ジェンダーに基づく暴力 (gender-based violence)
- (5) 身体化 (somatization)
- (6) 共同注意 (joint attention)
- (7) 手続き記憶 (procedural memory)
- (8) 多特性多方法行列 (multitrait-multimethod matrix)
- (9) 印象形成 (impression formation)
- (10) 標準誤差 (SE: standard error)
- (11) 非侵襲的脳機能計測法 (non-invasive brain imaging techniques)

問 II. 以下の設問から 4 問を選んで、日本語で論述しなさい。

注 1 選択した設問（下記の設問(1)~(9)）ごとに、異なる解答用紙を使用すること

注 2 解答用紙には設問番号（下記の設問(1)~(9)）を明記すること

注 3（臨床コース）4 問中少なくとも 3 問は、設問(1)から設問(5)の中から選択しなさい

- (1) 認知行動療法の治療期間について知るところを述べなさい。その際に「短期」と「長期」の2つの語を用いること。
- (2) 心理臨床家における「科学者-実践家モデル」について説明し、このモデルがもたらす功罪両面について論じなさい。

- (3) Jung, C.G.は、Freud, S.と Adler, A.の違いをどのように捉えたか。Jung のタイプ論を使って説明しなさい。
- (4) Adverse Childhood Experiences (ACEs : 逆境的小児期体験) が、経験した子どもたちにどのような影響を、なぜもたらすのかを説明し、その影響を緩和する小児期保護的体験・肯定的体験について述べなさい。
- (5) 支持的心理療法と精神分析的な心理療法の違いについて簡潔に説明しなさい。
- (6) ドイツの心理学者、バルテス (Baltes, P. B.) の発達の捉え方について説明しなさい。
- (7) 人を対象として、純音が提示される場面において、異なる音の高さごとに音の大きさがどのように知覚されるかを調べる実験を行うとします。刺激の物理的要素として何を操作すべきか、説明しなさい。あわせて、この実験場面において適切と考えられる心理物理学的手法およびその手法に基づく実験デザインについて論じなさい。
- (8) 結果期待と効力期待について、具体例をあげながら説明しなさい。
- (9) 「名誉の文化」における暴力行動について論じなさい。